

岡美第 139 号  
令和元年12月10日

各 位

岡山県立美術館  
館長 守 安 收  
( 公 印 省 略 )

令和元年度「備前焼実態調査」について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。日頃より当館の運営に対し、諸々のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当館では山陽新聞社ほかとの共催で特別展「The 備前一土と炎から生まれる造形美一」（会期：令和2年6月5日～7月12日）を開催します。同展は東京国立近代美術館工芸課長唐澤昌宏氏の監修で東京を皮切りに益子、萩、信楽、丹波、瀬戸と各地の窯業地で開催され、備前焼を各地の焼き物と比較しながら考えるよい機会となりました。

当館では同展覧会に併せ、本県の重要な文化資源である備前焼の振興のため、各種関連事業を企画準備しております。そのひとつとして、備前焼の現状を把握すべく、別添のとおり「備前焼実態調査」を実施したいと考えています。同調査は平成9年になされて以来、実施されておらず、平成から令和へと変わったこの機に、約20年の変化を検証しようとするものです。

つきましては、広く備前焼に従事する作家、窯元、関係各位には本調査にご協力いただきたく、謹んでお願い申し上げます。 敬 具

\*調査書は A、B 二種類あります。調査書 A は備前焼に従事するすべての方にご記入いただくもので、調査書 B は独立した作家、窯元、共同窯の代表の方にご記入いただくものです。

\*調査書の各質問項目は平成 9 年版を元に一部改訂したものです。（当館ホームページからもダウンロードできます。）

\*該当するものに○印または必要事項をご記入ください。年間の数量については、直近の一年【平成 30 年 1 月～12 月／平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月／平成 31 年 1 月～令和元年 12 月】を元にご記入ください。

\*ご記入いただいた調査書は同封の返信封筒にて郵送か、FAX、もしくはメールでご返信ください。

\*調査結果は特別展「The 備前展」にて公表し、後日報告書にまとめます。

お問い合わせ先  
岡山県立美術館  
〒700-0814 岡山市北区天神町 8-48  
担当 主任学芸員 福 富 幸  
電話 086(225)4800 FAX086(224)0648  
メール kou\_fukutomi@pref.okayama.lg.jp